

札幌の商店街

# 税はゴーンさんから

## 共産党増税反対宣伝に反響

「日本共産党は消費税10%に断固反対です」。札幌市北区の

党札幌北区地区後援会と佐野弘美道議、小室正範、長屋いずみ両市議候補は5日、商店を軒並み訪問、増税中止の党の政策を届け、署名を呼びかけました。後援会員ら10人全員で宣伝した後、日本共

産党のポスターも携えて、1時間半で44店を訪ねました。



対話が弾む商店訪問。(左から)長屋小室、佐野の各氏。5日、札幌市北区

薬局の店主は「処方箋で薬を売るとき、消費税は掛けられませ

ん。でも薬を買うときは10%掛かってしまふ。この前8%に上がったのに」と頭を抱えます。「ポスターは店に張れないけど、署名ならいくらでもするよ」と応じた青果店のおかみさん。「今回は、カードがどうしたこうしたとやめほしいよね」と腹立たしげです。

ペットショップの店主は「500円、600円でもカードを使う

けど、カードを持っていない人がいます。これ以上、消費税が上がったら大変です」としっかり署名。「ポスターを預かります」と受け取りました。

飲食店の店主は「しんぶん赤旗」日曜版を見て、大もうけを続ける大企業や大資産家が応分の負担をすれば、10%増税しなくて済むとの主張に共感し、「ゴーンさんから税金をいただいでください」と話しました。